

9月9日救急の日 心肺蘇生法の手順が変わりました

日本蘇生協議会「日本版救急蘇生法ガイドライン2010」の公表を受け、清里消防で新しいガイドラインに基づく応急手当の講習を開始しました。

ガイドラインの改正点と新しい心肺蘇生法の手順を紹介します。

ガイドラインの改正点

	改正前	改正後
倒れている人を発見	反応がなければ 近くの人に119番通報とAED搬送を依頼し 気道確保してから呼吸の確認 (見て、聞いて、感じて)	反応がなければ 近くの人に119番通報とAED搬送を依頼し 気道確保せずに呼吸の確認 (胸と腹部の動きを見る)
心肺蘇生	普段どおりの呼吸がなければ 人工呼吸を2回行う 人工呼吸が終わったら 胸骨圧迫(心臓マッサージ)を30回連続で行う (その後は人工呼吸2回と胸骨圧迫30回を繰り返す)	普段どおりの呼吸がなければ 胸骨圧迫(心臓マッサージ)を30回連続で行う 胸骨圧迫(心臓マッサージ)が終わったら 気道確保と人工呼吸を2回行う (その後は胸骨圧迫30回と人工呼吸2回を繰り返す)
AED到着	AEDの小児用電極パッドを貼る対象は、 1歳児以上8歳未満 乳児に対してAEDを使用しない	AEDの小児用電極パッドを貼る対象は、 おおよそ6歳くらいまで、 乳児に対してAEDを使用できる

応急手当講習を受けてみませんか

より身近に応急手当を知っていただくために、清里消防では講師を派遣し、心肺蘇生法や止血や骨折の対応処置、気道の異物除去法、乳幼児に対する応急手当など様々な内容の講習を行っておりますので、自治会や職場などで興味のある方は清里消防にご連絡ください。

清里消防団防災訓練を行います

清里消防団では、各種災害に備えて防災訓練を行っています。

救助救出訓練や水防訓練などを行います。また、町民の皆様向けの体験コーナー等もごさいますので多数のご参加、ご観覧をお願いします。

日時 9月9日(日)午前9時～

場所 緑ヶ丘公園駐車場

招集サイレン吹鳴

全町一斉 午前8時

消火訓練サイレン吹鳴

午前9時40分頃



新しい心肺蘇生法の手順

倒れてる人を発見・呼びかけ反応を確認



近くの人に119番通報とAED搬送を依頼



呼吸を確認（10秒以内）

- 胸と腹部の動きをみて「普段どおりの呼吸」をしているか確認



心肺蘇生

胸骨圧迫（心臓マッサージ）30回連続行う

- 強く（大人は少なくとも5cm以上沈むように、小児は胸の厚さの約3分の1程度沈むように）
- 速く（少なくとも1分間に100回以上の速さで）
- 絶え間なく（中断を最小限にする）
- 圧迫解除はしっかり胸が戻るまで

気道確保と人工呼吸2回

- 口対口で鼻をつまみながら息を吹き込む（胸が上がる程度吹き込む）
- 1回約1秒かけ、2回行う（10秒以上かけない）

※人工呼吸ができない場合やためらう場合は心臓マッサージのみ実施

AEDが到着まで心肺蘇生を実施



AED装着

成人の場合

- 電極パッドに電極パッドを貼る場所が描かれているので絵のとおり貼り付け

乳児・小児の場合

- AED小児用電極パッドを使用（おおよそ6歳くらいまで）

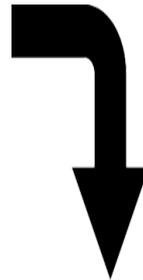


心電図解析

- 電気ショックが必要な場合、AEDの指示に従って操作し、電気ショックを行う
- 電気ショック後及び電気ショックが必要ない場合、心肺蘇生と心電図解析を繰り返し行う

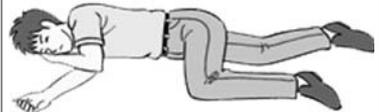
※救急隊に引き継ぐまで、または傷病者が目を開けたり、普段どおりの呼吸が行われるまで続ける

呼吸がある場合



気道確保確認

回復体位をとり、観察を行いながら救急隊の到着を待ちます。



回復体位

※AEDパッドを装着する際の注意点

- 傷病者の胸が濡れている場合、タオル等で拭き取ってから貼る
- パッドの邪魔になる貼り薬がある場合、貼り薬をはがし薬剤をふき取ってから貼る
- ペースメーカー・徐細動器が埋め込まれている場合、出っ張りを避けて貼る